

# 富士のさと ボランティアキャンプ 2018

期日：平成 30 年 3 月 10 日（土）～ 3 月 11 日（日）1泊2日

## ○目的

1 年間のボランティア活動を振り返り、ボランティアに取り組む姿勢や気持ちを見直す。また、ボランティアとしてのスキルアップを行うことにより新たなボランティアの可能性を見つけ出す機会とする。さらには、ボランティア同士や施設職員との交流を通して連携を深めることにより、今後のボランティア活動を充実させる場とする。

## ○参加者

法人ボランティア 17 名（中央：15 名、磐梯 2 名）  
中央青少年交流の家職員（のべ 16 名） 計 33 名

## ○事業の内容

### （1）仲間づくり



### （2）仲間づくりゲームを学ぶ



参加者である法人ボランティアの中から、比較的ボランティア経験年数の少ない者に急遽「仲間づくり」のゲームを行ってもらいました。その後、そのゲームを振り返りながら、豊富なボランティア経験のある職員に仲間づくりゲームの理論と実践を講義してもらうことで、スキルアップ研修としての時間となりました。また、職員も活動に参加したため、職員とボランティアの交流を深める時間とすることもできました。

### （3）食材ハンティングラリー



### （4）炊事実習



ボランティアと職員をシャッフルしてグループを作り、各グループで夕食の食材探しのラリーを行いました。ラリー中には様々なミッションがあり、各グループ協力している姿が印象的でした。夕食はほうとう作り。ボランティアのスキルアップと深い交流を目的としていたため、十分に目的の達成された炊事実習となったようでした。

## (5) 意見交換会

企画ボランティアのキャンプのねらいについて… (ボラミックス&学ボラから)



より良いキャンプづくりにおけ皆真剣です。

各カードには色々なキーワードが書かれています。



そのカードは渡せないよ…



企画ボランティアから改めてこのキャンプのねらいを伝え、ボランティアと職員をシャッフルしたグループで、カードに書かれたキーワードが自分にとって譲れるものか、譲れない大切なものか等についての自問自答を繰り返すカードゲームを行った。最後に手元に残ったカードについての考えを周囲とシェアしていくという活動を行うことで、あらゆる立場におけるお互いの考えを知ることができた活動であったため、ボランティアにとっても職員にとっても有意義な時間となった。

## (6) ふりかえり

各キャンプの紹介



次年度へ向け決意表明!!!



ボラ主催の職員とのお別れ会



ボランティアが参加した各キャンプを紹介し合い、良かった点や反省点を伝えることで、それぞれのキャンプの魅力や引継ぎ事項を共有することができた。また新潟青陵大学のボランティアセンターの話や、他施設でのボランティアの活動の実際の話聞くことにより、新たな刺激を受けることができた。その後、各自、次年度に向けた決意表明を行い、キャンプの締めくくりとした。

### 【キャンプの「自由記述アンケート」より】

- ・今までのボランティア、これからのボランティアについて考えるきっかけになったし、他の人の意見や価値観を聞いて、自分の考えをさらに深めることができました！
- ・今年からボランティアをやってわからないなりに様々なことに挑戦しました。そこで感じた自分に足りないこと、どうして良かったのかということをお互いに話し合ったり、共有ができて本当に有意義な時間を過ごすことができました。今後の自分自身の課題、中央の法ボラ全体の課題も見えたので、改善していけるように頑張ります。

### 《成果と課題》

- 企画メンバーがプログラムの企画から運営までを行うことで、ボランティアのニーズや今、感じていることをテーマにすることのできたキャンプとなった。
- 指導者の立場・参加者の立場を学ぶことによってキャンプを企画・運営するリーダーとしてのスキルやリスクマネジメント力を身につけることができた。
- キャンプのメインであった職員とボランティアとの交流に関しては、体験活動（ハンティングラリー・炊事実習）や意見交換会を通して十分に行うことができた。
- プログラムの内容が、ボランティアと職員の交流がメインであったため、職員の出勤日・勤務時間の配慮、事務所での通常業務対応者配置等に理解を得る必要がある。